

草地で観察

Point1 バッタやキリギリスの仲間を採^とる

バッタやキリギリスの仲間は草地にすむ種類が多く、草の生える状態によってすんでいる種類が違っていることは、P. 40で説明しました。ここでは、実際にこのことを観察して確かめてみましょう。

観察の時期は、夏の終わりから秋の初め、つまり8月下旬から9月頃が適しています。観察地はどこでもよいですが、できるだけいろいろな状態の草地がある場所を選びましょう。淀川や大和川などの、広い河川敷かせんじきの草地が理想的です。このような河川敷は、管理のため定期的に草刈りそうてきが行われていますが、広いためにいろいろな状態の草地がしやすいのです。

まず、草地全体をながめて、だいたいの観察ポイントを決めましょう。背の高いスキがたくさん生えている場所、草がまばらしばふに生えている場所、芝生のような場所、足がかくれるほどの高さの草地など自分なりに区別します。

観察のポイントが決まったら、ポイントごとに観察や採集を始めましょう。

～いろいろな状態の草地～

